

参考文献

第1章

- 1) 田中正道著：あなたと隣人のための実践ストレス対応法 近代文藝社（1993）
- 2) 渡辺茂夫著：新・音楽健康法 誠文堂新光社（1988）
- 3) エルザ渋谷館セミナー 「心と身体にいい音と暮らす」1992年6月27日
講師：アメニティデザイン研究所所長 渡辺茂夫氏
- 4) 品川嘉也著：右脳クラシック鑑賞法 丸善メイツ（1990）
- 5) 山松質文著：音楽の魔力 千曲秀版社（1986）
- 6) 水野和彦著：音楽効果 情報センター出版局（1991）
- 7) ELSA 6月号 ELSA 出版局（1992）
- 8) 日本バイオミュージック学会発行：日本バイオミュージック学会誌 第8号（1993）
- 9) 健康産業流通新聞：エコロジービジネスキーパーソン（1992.11.26）
- 10) 石川中著：瞑想の科学 講談社ブルーバックス（1991）
- 11) 毎日ライフ 3月号 一言健康アドバイス“音楽と健康”（1991）
- 12) 楽器商報 8月号 楽器商報社（1993）

<その他参考とした文献>

- ・堀忠雄、斉藤勇編：脳と心のトピックス100 誠信書房（1991）
- ・佐々木雄二編著：講座サンコセラピー第3巻 自律訓練法 日本文化科学社（1989）
- ・（財）日本産業技術振興協会発行：新時代をめざすバイオニクス技術
生体情報機能編（1983）
- ・（財）日本産業技術振興協会発行：新時代をめざすバイオニクス技術
生体機能代替機器編（1983）
- ・ Hightech Art Planning 編：HARP exhibition 2nd Guide Book（1990）

第2章

- 1) 貫 行子：音楽が生体と心理に及ぼす効果 音楽音響研究会資料 MA89 - 12 (1989)
- 2) 水野和彦著：音楽効果 情報センター出版局 (1991)
- 3) エルザ渋谷館セミナー 「心と身体にいい音と暮らす」1992年6月27日
講師：アメニティデザイン研究所所長 渡辺茂夫氏
- 4) 品川嘉也著：右脳クラシック鑑賞法 丸善メイツ (1990)
- 5) 志賀一雅：バイオフィードバック法への音楽の活用 騒音制御 Vol. 11, No. 3 (1987)
- 6) Hightech Art Planning 編：HARP exhibition 2nd Guide Book (1990)
- 7) パイオニア(株)リラクティブ・システム事業部 パンフレットより
- 8) 志賀一雅：アルファ脳波の活用 創造性開発のために
電子情報通信学会技術研究報告 Vol. 91 No.360 ET91 - 98 (1991)
- 9) バイエル薬品(株)企画・発行：音楽の不思議な力 - 音楽療法 - (1992)
- 10) パイオニア(株)リラクティブクラブ・マザー パンフレットより
- 11) (社)東京国際見本市協会発行：2001年すまいの旅 (1992)
- 12) ロフテー(株)快眠スタジオ パンフレットより
- 13) (株)ダブルアイティ インナークエスト パンフレットより
- 14) ランダムエレクトロニクスデザイン イーバ パンフレットより
- 15) 音楽情報処理の技術的基盤 平成4年度文部省科学研究費総合研究(B)報告書(1993)
- 16) The ICMA Video Review Vol. 1 No. 1 (1991)
A Video Publication by the International Computer Music Association
- 17) D. Rosenboom：“Biofeedback and Music”
Aesthetic Research Center of Canada (1976)
- 18) 杉山知之, 上原和夫, 藤枝 守：Computer Today 11月号 サイエンス社(1989)
特集 これがコンピュータミュージックだ!
- 19) 大照完 他：仮想空間における歌唱と演奏
音楽音響研究会資料 MA91-25 (1991)
建築音響研究会資料 AA91-32 (1991)
- 20) Akio SATO, Shuji HASHIMOTO, Sadamu OHTERU：
VIRTUAL SINGER & VIRTUAL BAND FOR COMPUTER MUSIC PERFORMANCE
INTERNATIONAL SYMPOSIUM ON MUSICAL ACOUSTICS, TOKYO JAPAN(1992)
- 21) 大照完 他：指揮者の指揮に従うコンピュータ音楽システム
音楽音響研究会資料 HA89 - 11 (1989)
- 22) 東京現代音楽祭 電楽 資料集 日本現代音楽協会・音楽情報科学研究会共催(1991)
- 23) International Computer Music Conference, San Jose U.S.A 配布資料より(1992)

<その他参考とした文献>

- ・渡辺茂夫著：新・音楽健康法 誠文堂新光社(1988)
- ・佐々木雄二編著：講座サンコセラピー第3巻 自律訓練法 日本文化科学社(1989)

第3章

- 1) 第5回 日経サイエンス Panasonic フォーラム 1991年12月16日 於：東京 P/N
演題：「脳と心」 - 脳の学習・記憶（わかってきた脳と心のつながり）
講師：電子技術総合研究所超分子部長兼室長 松本元氏
- 2) 松本元：脳科学研究から心の理解へ 愛は脳を活性化する
電子情報通信学会誌 Vol. 76 No. 6 (1993)
- 3) 品川嘉也編：身近な脳の話 講談社 (1985)
- 4) 水野和彦著：音楽効果 情報センター出版局 (1991)
- 5) 堀忠雄、斉藤勇編：脳と心のトピックス 100 誠信書房 (1991)
- 6) 音楽情報処理の技術的基盤 平成4年度文部省科学研究費総合研究(B)報告書 (1993)
- 7) 角田忠信著：右脳と左脳 小学館 (1984)
- 8) 角田忠信著：続日本人の脳 大修館書店 (1986)
- 9) 品川嘉也著：右脳クラシック鑑賞法 丸善メイツ (1990)
- 10) セルゲーエフ著：右腕と左脳のはなし 東京図書 (1991)
- 11) 週刊ゴルフダイジェスト 1月7・14日号 1992 ゴルフダイジェスト社
- 12) 安藤由典：音響的性質から見た邦楽器の特徴 - 洋楽器との対比において -
日本音響学会音楽音響研究会資料 MA90 - 16 (1990)
- 13) 茂手木潔子：日本人の音の聴き方 - 平安期の日記の音楽学的研究
日本音響学会音楽音響研究会資料 MA90 - 5 (1990)
- 14) エルザ渋谷館セミナー 「心と身体にいい音と暮らす」1992年6月27日
講師：アメニティデザイン研究所所長 渡辺茂夫氏
- 15) 貫 行子：音楽が生体と心理に及ぼす効果
音楽音響研究会資料 MA89 - 12 (1989)
- 16) 渡辺茂夫著：新・音楽健康法 誠文堂新光社 (1988)
- 17) 志賀一雅：アルファ脳波の活用 創造性開発のために
電子情報通信学会技術研究報告 Vol.91 No. 360 ET91 - 98 (1991)
- 18) 大橋 力, 仁科エミ, 河合徳枝：環境高周波音の生理的・心理的機能に関する
“トランス誘起モデル”とその検証
日本音響学会聴覚研究会資料 H - 88 - 66 (1988)
- 19) 大橋 力, 鹿島典子, 服部和徳, 村上陽一郎：合唱およびガムランにおける高域音の
二次的発生について
日本音響学会聴覚研究会資料 H - 85 - 22 (1985)
日本音響学会音楽音響研究会資料 MA85 - 4 (1985)
- 20) 大橋 力, 仁科エミ, 渡辺典子, 松尾梨江子：トランス誘起性音楽の高周波成分に
ついて
日本音響学会音楽音響研究会資料 MA88 - 26 (1989)
Tsutomu Oohashi, Emi Nishina, Norie Kawai and Yoshitaka Fuwamoto:
“HYPERSONIC EFFECT” BY HIGH FREQUENCY SOUND ABOVE THE AUDIBLE RANGE
INTERNATIONAL SYMPOSIUM ON MUSICAL ACOUSTICS TOKYO JAPAN (1992)
- 21) ロフテー (株) 快眠スタジオ パンフレットより

- 22) 武者利光：特別講演 生理リズムの「ゆらぎ」と音楽
聴覚研究会資料 H-90-3 音楽音響研究会資料 MA89 - 21 (1990)
- 23) 武者利光著：ゆらぎの世界 講談社ブルーバックス (1991)
- 24) 山本光璋：BME (Bio Medical Engineering) 10月号 Vol.1 No.10 1987 秀潤社
- 25) 武者利光，井上健：線形予測フィルターを用いた作曲法
音楽音響研究会資料 MA83 - 6 (1983)
- 26) 吉田倫幸：脳波のゆらぎ計測と快適性評価 日本音響学会誌 Vol.46 No.11 (1990)
- 27) (財)日本産業技術振興協会：平成4年度製品科学研究所研究講演会資料
1992年9月11日 於：石垣記念ホール
産業科学技術における人間の視点 - 人にやさしい技術の体型化をめざして -
- 28) 福原博篤，泉山中三：ゆらぎを持つ音刺激に対する生理及び心理的反応
日本音響学会音楽音響研究会資料 MA89 - 1 (1989)
- 29) バイエル薬品(株)企画・発行：音楽の不思議な力 - 音楽療法 - (1992)
- 30) 今野紀雄他：Computer Today 11月号 サイエンス社 (1989)
特集 これがコンピュータミュージックだ！

<その他参考とした文献>

- ・山松質文著：音楽の魔力 千曲秀版社 (1986)
- ・音楽情報科学研究会編：コンピュータと音楽 bit 別冊 共立出版 (1987)
- ・M.クリッチュリー，R.A.ヘンスン編：音楽と脳 サイエンス社 (1985)
- ・ELSA 編集室編：ELSA 6月号 ELSA 出版局 (1992)

第4章

- 1) Hightech Art Planning 編：HARP exhibition 2nd Guide Book (1990)
- 2) (財)日本産業技術振興協会：平成4年度製品科学研究所研究講演会資料
1992年9月11日 於：石垣記念ホール
産業科学技術における人間の視点 - 人にやさしい技術の体型化をめざして -
- 3) 音楽情報処理の技術的基盤 平成4年度文部省科学研究費総合研究(B)報告書(1993)
- 4) ミニ特集 脳・感覚機能の無侵襲計測 計測と制御 Vo1.31 No.2 (1992)
- 5) NHK放送技術研究所編：技研公開展示資料(1993)
- 6) 東京大学生産技術研究所公開 橋研究室配布資料(1993)
- 7) 日経エレクトロニクス No.531 7/8 (1991)
- 脳磁気計測装置が医療用に、X線CTやMRIに並ぶ大市場への期待膨らむ -
- 8) 小特集 - 大脳における聴覚情報処理の新しい研究手法 -
日本音響学会誌 Vol.48 No.5 (1992)
- 9) 今田俊明：脳磁界の計測と解析 電子情報通信学会誌 Vo1.74 No.12 (1991)
- 10) 橋本 勲：脳の電気・磁気現象をみる 電子情報通信学会誌 Vol.75 No.7 (1992)
- 11) (財)日本産業技術振興協会主催 特別シンポジウム テキスト
生体における新しい計測技術 1992年2月17日 於：石垣記念ホール
- 生体を視る・生体を聴く -
- 12) 第5回 日経サイエンス Panasonic フォーラム 1991年12月16日 於：東京 P/N
演題：「脳と心」 - 脳の学習・記憶(わかってきた脳と心のつながり)
講師：電子技術総合研究所超分子部長兼室長 松本元氏
- 13) ロフテー(株)快眠スタジオ パンフレットより
- 14) エルザ渋谷館セミナー 「心と身体にいい音と暮らす」1992年6月27日
講師：アメニティデザイン研究所所長 渡辺茂夫氏